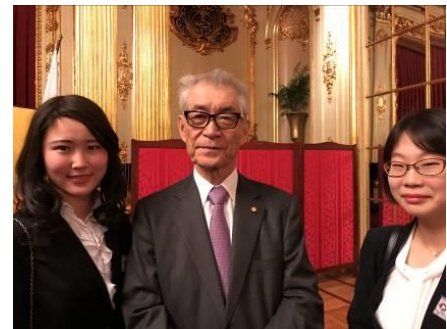




## 2019年 ストックホルム国際青年科学セミナー参加学生を募集 ～12月開催のノーベル賞授賞式への参加や受賞者との交流を体験～

公益財団法人国際科学技術財団(理事長 小宮山宏)は、5月24日(金)より、ノーベル賞週間行事に合わせて開催される「ストックホルム国際青年科学セミナー(SIYSS)」に参加する学生の募集を開始いたします。今年のSIYSSの派遣期間は12月4日(水)出発～12日(木)帰国です。日本国際賞の授賞領域である「物理、化学、情報、工学」または「生命、農学、医学」領域を研究・専攻している18～24歳の日本国籍の学生が対象であり、8月30日(金)まで応募を受け付けます。

SIYSS(Stockholm International Youth Science Seminar)とは、科学者を目指す若者を対象にした1週間にわたるセミナーであり、1976年にスウェーデン青年科学者連盟がノーベル財団の協力を得て開始して以来、毎年開催されています。セミナーでは、世界各国から集った若者が現地の高校生を前に英語で各自の研究発表を行います。また、スウェーデン最大の教育・研究機関でありノーベル医学・生理学賞の選考委員会が置かれているカロリンスカ研究所を始め、ストックホルムの大学や企業を訪問。さらに、ノーベル賞受賞者記念講演会を始め、祝賀レセプション、授賞式、晩餐会等一連のノーベル賞週間行事に参加してノーベル賞受賞者と直接交流する貴重な機会が与えられます。



昨年2018年12月SIYSSに参加した  
慶応義塾大学・伊津野さんと東京工業大学・土山さん  
ノーベル医学生理学賞 受賞者・本庶佑博士との記念写真

昨年は世界19カ国25名の学生が参加しました。「Japan Prize(日本国際賞)」で知られる国際科学技術財団は国内で唯一、SIYSSに参加する学生の募集と選考を行っており、毎年2名の学生をストックホルムに派遣しています。1987年以降これまでに62名を派遣しました。

これまで参加した学生たちは、「SIYSSの1週間で、一生の糧となる刺激と一生忘れられない思い出を得た」、「科学者としての倫理観や日本について客観的に考えるきっかけになった」、「国境を超えた科学の普遍性を再認識した」、「ノーベル賞受賞者本人から直接聞いた『好奇心や探究心を決して忘れてはいけない』という言葉が印象に残った」等、感想を述べています。

SIYSSへの派遣は、若手科学者に比類ない国際交流の機会を提供するだけでなく、科学に対するモラルの向上や熱意の高揚にも役立っています。応募方法や必要書類等詳細については、次頁以降、もしくは財団ホームページ([http://www.japanprize.jp/siyss\\_yoko.html](http://www.japanprize.jp/siyss_yoko.html))をご参照ください。

報道関係各位のお問い合わせ先:

ジャパンプライズ広報事務局 高柳・福田・岩坂・松葉

Tel:03-4570-3180 Fax:03-4580-9132 E-mail:[pr-media@japanprize.jp](mailto:pr-media@japanprize.jp)

## <ストックホルム国際青年科学セミナー 2019 年開催概要・応募要項>

### ■ 応募条件

- 日本国際賞の領域である「物理、化学、情報、工学」領域、または「生命、農学、医学」領域を研究または専攻していること  
※SIYSS では同領域に関わらず、広範な分野について討議されます。
- 18 歳から 24 歳(2019 年 12 月 3 日時点)の日本国籍の学生であること
- 科学技術への興味と探究心のあること
- 英語力を駆使して十分なコミュニケーションがとれること  
(他国からの参加者と科学技術分野における話題について討議するに足る英語力を備えていること)
- 異文化への関心と社交性があること
- セミナーに参加できる健康状態であること

### ■ 募集定員

2 名

### ■ スケジュール

- ① 募集期間: 5 月 24 日(金)～ 8 月 30 日(金)
- ② 推薦書及び小論文提出期限: 8 月 30 日(金)
- ③ 書類選考結果通知: 9 月 6 日(金)(ご本人に郵便にて通知)
- ④ 面接(場所 東京): 9 月 20 日(金)(時間は書類選考合格者に通知)
- ⑤ 合否発表: 9 月 24 日(火)(ご本人に郵便にて通知)
- ⑥ 派遣日程: 12 月 4 日(水)出発、12 月 12 日(木)帰国

### ■ 提出書類

- ① 派遣候補者推薦書
- ② 小論文「ストックホルムで何を学びたいか」
- ③ 現在行っている研究内容の解説文及びポスター発表の方法  
※現地で高校生向けに研究内容を発表し、その後ポスター発表を行う場合があります。  
それらを前提にわかりやすく記載して下さい。
- ④ TOEIC スコアシート(700 点以上) 同レベルであれば TOEFL や英検でも可
- ⑤ 担当教官による推薦状
- ⑥ 健康診断証明書(合格者のみ)  
※提出いただいた書類は返却できません。  
※スコアシートはコピーで結構です。  
※財団所定のフォームを下記よりダウンロードしてご使用ください。

[http://www.japanprize.jp/siyss\\_file\\_download.html](http://www.japanprize.jp/siyss_file_download.html)

### ■ 選考方法

- ① 1 次選考(書類)  
推薦書ならびに小論文をもとに 1 次選考を行います。
- ② 2 次選考(面接)  
1 次選考合格者は東京都内にて日本語と英語による面接を受けていただきます。  
詳細は 1 次選考合格者に改めて財団より通知致します。

### ■ 派遣が決まった学生への依頼事項など

- ① 帰国後の報告会への出席とレポートの提出
- ② 渡航中や帰国後に催されるメディアへの取材対応
- ③ 日本国際賞授賞式・祝宴へのご招待(2020 年 4 月下旬予定)

<https://www.youtube.com/watch?v=yXjQQkq4TNI&feature=youtu.be>

## ■ 費用

### ① 面接について

面接会場(東京都内)までの交通費・旅費は候補者負担となります。

### ② 合格者について

参加決定者の自己負担は次の通りです。

ア. 渡航関連費用(パスポート作成関連費用、個人契約旅行傷害保険代金等)

財団の負担は次の通りです。

ア. 渡航前打合せ費用(過年度参加者と財団で打合せの為の交通費と旅費)

イ. 出発・帰国時の国内交通費と旅費

ウ. 帰国報告会費用(帰国直後財団で開催する報告会への交通費と旅費)

エ. 成田-ストックホルム間の往復航空運賃

オ. 現地での SIYSS 行事参加費用(食事・宿泊等)

カ. 財団規定に基づく日当(出発日～帰国日迄の期間)

## ■ 推薦状、小論文の送付および問合せ先

〒107-6035 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル イーストウィング 35 階

公益財団法人 国際科学技術財団

担当: 小倉

Tel. 080-2003-1931(03-5545-0551) Fax. 03-5545-0554

E-mail. [ogura@japanprize.jp](mailto:ogura@japanprize.jp)

### 国際科学技術財団とは

国際科学技術財団は、人類の平和と繁栄が世界中の人々にとって共通の願望であることに鑑み、これに貢献する科学技術の進歩のための研究開発活動を奨励すると共に、科学技術に関する知識及び思想の総合的な普及啓発を図ることを目的としています。科学技術の分野における権威ある国際的な賞として「Japan Prize」を創設するために、1982年11月1日に内閣総理大臣の許可を得て発足しました。

Japan Prize の創設は、1981年、当時の鈴木内閣の中山太郎総理府総務長官が「国際社会への恩返しの意味で、日本にノーベル賞並みの世界的な賞を作っては」という構想をたてられ、これに松下幸之助氏が「畢生(ひっせい)の志」のもとに寄付をもって応え、実現したものです。

国際科学技術財団は、上記の目的を達成するために次の事業を行っています。

- (1) 科学技術において、独創的・飛躍的な成果を挙げ、その進歩に大きく寄与し、人類の平和と繁栄に著しく貢献する業績を成したと認められる人を Japan Prize (日本国際賞) をもって顕彰する事業
- (2) 科学技術に関する研究に対する助成及び奨励事業
- (3) 広報刊行物、研究論文集等の刊行物やセミナー開催などを通じての科学技術に関する知識及び思想の総合的な普及啓発活動
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

最新情報は公式 SNS アカウントでも随時更新しています。



: @JapanPrize /



@JapanPrizeAward /



@japanprize